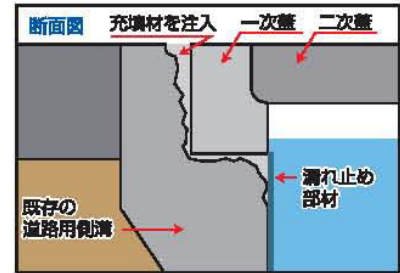


リボーン側溝 ECONビ工法



ECONビ工法の特徴

- ECONビ工法とは老朽化した側溝本体を壊さず、老朽化した蓋のみをECONビ一次蓋と交換します。
- この一次蓋を充填剤により固定すると同時に、老朽化した側溝本体の補修・補強を行い即日開放を実現しました。
- 一次蓋は固定されるが、そこに装着するための軽量化された二次蓋は着脱可能です。
- 一次蓋は軽量設計され、重機を使わない施工を実現しています。



リボーン側溝 ECONビ工法 参考施工手順



① 既設側溝の危険状況



② 既存側溝の蓋撤去



③ 既存側溝の清掃



④ 定規で流れ止め金具設置



⑤ 流れ止め金具設置完了



⑥ 一次蓋仮設置



⑦ 充填剤を練り混ぜ注入



⑧ 既存側溝天端修繕



⑨ 流れ止め金具撤去



⑩ バリ取り・蓋受け部清掃



⑪ 軽量二次蓋設置作業



⑫ 新設側溝の様に完成

既存の側溝を壊さずに活かし、新しい側溝の様に蘇えらせる新工法です。

リボーン側溝 ECONビ工法の効果

- 廃棄物を最小限に抑える事が可能で、環境に優しい新工法です。
- 大幅な工期短縮が可能となり周辺の交通障害を大幅に軽減可能です。
- 従来技術と比較し大幅に工種・工程が減り、コストダウン可能で経済的です。
- 施工による振動や騒音等が発生しないので、近隣環境に優しい工法です。
- 壊れた一部分だけの工事を従来よりも容易に行えます。

before



現状の問題として、車の乗り上げによる“がたつき騒音”がひどく、蓋にかかる衝撃が蓋の破損にもつながります。そのため、歩行者などの通行にも危険が多く安全性に問題が出ます。又、蓋も何度変えても破損がおこり、ムダな経費が常に発生しています。

after



「ECONビ工法」により、問題となっていた蓋の“がたつき”が、一次蓋を充填剤により固定することで解消され、二次蓋は特殊構造により、“がたつき”による騒音や破損が防げるようになりました。



軽くて安全で耐久性の高い「ふた」を実現!



1/3の軽量化で掃除も楽々。

レジンコンクリートの採用で、従来品の強度をそのままに1/3と非常に軽く、大きなサイズでも人力で素早い施工を可能にしました。又、高齢化等で困っていた泥上げなどの清掃作業も格段に楽になり維持管理がしやすくなりました。

おばあちゃんも安全に通行。

従来の側溝蓋では大きめの穴があいていて、手押し車や杖による通行時に怖くて近寄れないこともありましたが、細いスリットの採用で安全な通行が可能になりました。

◆取付・取外し器具のご紹介

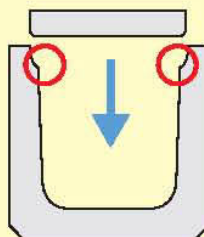


注意

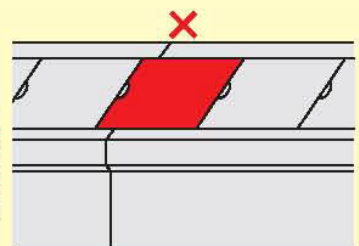
- この器具はRUG型 蓋の脱着する為のものであり、その他の作業には絶対に使用しないで下さい。
- 作業は手や足を挟まぬ様、車両の通行などには気を配り、安全に注意しながら行いましょう。
- 安全にバランス良く持ち上げる為に、器具はスリット穴の両端に広げてください。

施工上の 注意事項

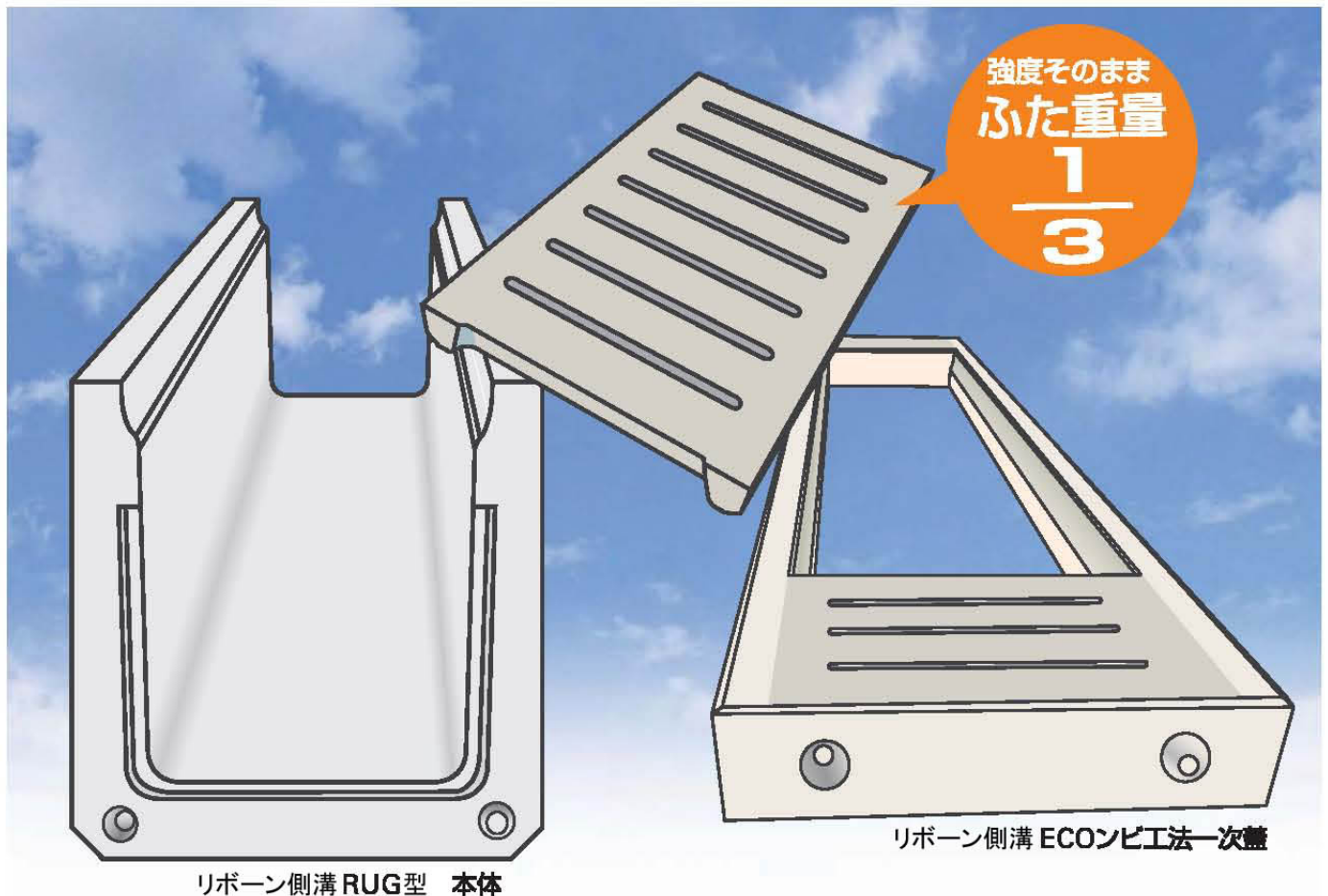
1 蓋を設置する際に、**本体蓋掛部を充分に押除**を行ってから蓋の設置を行って下さい。



2 蓋を設置する際に、**本体同士の継手部上に蓋がまたがない様**に設置して下さい。



集水が格段に良く安価で維持管理費も軽減!



ふたの特長と効果

- 蓋重量が1/3と軽く、高齢化が進む中でも、女性やお年寄り等の地域住民による維持管理が格段に楽になりました。
- 蓋が一種類だけなので、設計や維持管理時の管理の簡略化が期待できます。
- 全ての蓋に集水用のスリットがあるので、安定した集水効果が得られ、粒状の模様がウェット時にも高いノンスリップ性能を発揮し、レジソ性なので磨耗にも強い構造です。
- 細目使用のスリット穴と細かい粒状模様の採用で誰もが安心して安全に通行可能になります。
- 接触構造の改良により、ガタガタ騒音を抑制すると共に、側溝の受けるダメージを低減し、耐久性能が向上します。

この連続スリットで
集水性能が大幅アップ!

見た目にも美しいデザインで
景観好感度もアップ。

表面の粒状模様が
滑りを止め、安全走行
快適生活を実現!!